



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

コード番号 5013 URL <http://www.vushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 百束 立春

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-3750-6793

平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,988	2.9	522	23.3	794	18.3	558	37.0
24年3月期第2四半期	11,655	0.3	423	△63.8	671	△52.8	407	△51.0

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 225百万円 (△53.4%) 24年3月期第2四半期 483百万円 (△0.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	40.30	—
24年3月期第2四半期	29.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	29,292		20,680		65.9
24年3月期	28,962		20,690		67.0

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 19,304百万円 24年3月期 19,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	17.00	27.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	1.4	1,050	19.6	1,650	27.1	1,000	44.1	72.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	15,200,065 株	24年3月期	15,200,065 株
25年3月期2Q	1,346,140 株	24年3月期	1,346,135 株
25年3月期2Q	13,853,927 株	24年3月期2Q	13,854,075 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州での債務危機の長期化に加え、景気を牽引してきた中国経済に減速感が出始める等、先行き不透明感が急速に強まっております。我が国の経済においては、震災復興特需やエコカー補助金の効果もあり一部に持ち直しが見られましたが、世界経済の減速と円高の影響を受けて輸出が伸び悩み、下振れ懸念を抱えた不安定な状況で推移しております。

当社の主要顧客の属する自動車業界は、震災直後の稼働率低下から立ち直り、自動車生産台数が前年同期に比べ大幅に増加しました。

このような状況下、売上高は前年同期を大きく上回る日本や、日系以外の自動車関連メーカーへの拡販に努めた米国等での好結果から増収となり、前年同期比2.9%増の11,988百万円となりました。

利益面では、国内外での原材料価格の高騰や円高が響いたものの、売上高が大幅に回復した国内での収益に支えられ、営業利益は前年同期比23.3%増の522百万円となりました。経常利益は持分法投資利益が増加したことにより前年同期比18.3%増の794百万円となりました。四半期純利益は前年同期比37.0%増の558百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

[日本]

金属加工油剤事業は、国内自動車生産台数が前年同期に比べ大幅に増加した影響を受け、売上高は前年同期を大きく上回りました。

また、ビルメンテナンス製品事業では、高付加価値製品の拡販による収益改善に努めました。

その結果、売上高は前年同期比6.1%増の8,333百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、売上高増加の影響で、前年同期比461.7%増の366百万円となりました。

[南北アメリカ]

米国では、好調な自動車業界に牽引されるとともに積極的な販売活動が奏功し、売上高は順調に伸長しました。ブラジルでは、自動車生産台数の減少と円高の影響が大きく、売上高は前年を大きく下回りました。

その結果、売上高は前年同期比1.7%減の1,468百万円に留まり、セグメント利益（営業利益）は原材料価格の高騰や円高の影響もあって、前年同期比44.2%減の74百万円となりました。

[中国]

中国では、日系自動車メーカーの生産が堅調に推移したものの、輸出が全般的に停滞し始め、主要顧客の鉄鋼会社でも生産量が大幅に減少しました。

その結果、売上高は前年同期比7.5%減の1,394百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、原材料価格の影響もあり、前年同期比39.6%減の100百万円となりました。

[東南アジア／インド]

東南アジア各国では、二輪車、自動車産業が好調に推移しました。インドでも、日系自動車メーカーを中心に積極的な販売活動に努め、売上高を伸ばしました。一方、インドネシア子会社の工場本格稼働に伴い、マレーシアからインドネシアへの輸出が減少しました。

その結果、売上高はインドネシアでの出荷開始時期のずれもあり、前年同期比0.6%減の791百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、原材料価格の高騰やインドネシアにおける営業活動の本格化による経費増等があり、16百万円の損失（前年同期は69百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、29,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ329百万円増加しました。主な要因は、「投資有価証券」が243百万円、「現金及び預金」が237百万円、「受取手形及び売掛金」が125百万円減少しましたが、「長期預金」が447百万円、「有形固定資産」が325百万円、「無形固定資産」が157百万円増加したことによります。

負債は、8,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ340百万円増加しました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」が108百万円減少しましたが、「短期借入金」が353百万円、流動負債の「その他」が158百万円増加したことによります。

純資産は、20,680百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少しました。主な要因は、「利益剰余金」が322百万円増加したものの、「その他有価証券評価差額金」が328百万円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は5,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ306百万円増加しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は959百万円（前年同期に比べ1,148百万円の増加）となりました。主な減少は、持分法による投資損益211百万円、たな卸資産の増減額130百万円、仕入債務の増減額128百万円等で、主な増加は、税金等調整前四半期純利益789百万円、減価償却費272百万円、法人税等の還付額201百万円、売上債権の増減額160百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用された資金は512百万円（前年同期に比べ346百万円の減少）となりました。主な増加は、定期預金の払戻による収入945百万円等で、主な減少は、定期預金の預入による支出847百万円、有形固定資産の取得による支出502百万円、無形固定資産の取得による支出113百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用された資金は54百万円（前年同期に比べ249百万円の増加）となりました。主な増加は、短期借入金の純増減額354百万円等で、主な減少は、配当金の支払額235百万円、少数株主への配当金の支払額124百万円、長期借入金の返済による支出40百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における業績を踏まえ、業績予想の見直しを行った結果、平成24年5月14日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表しました平成25年3月期の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細は、平成24年11月9日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,661	5,423
受取手形及び売掛金	5,920	5,795
有価証券	340	340
商品及び製品	1,052	1,084
原材料及び貯蔵品	1,302	1,399
未収還付法人税等	332	3
未収消費税等	0	—
繰延税金資産	148	163
その他	188	274
貸倒引当金	△33	△33
流動資産合計	14,913	14,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,832	3,056
機械装置及び運搬具(純額)	755	904
工具、器具及び備品(純額)	195	243
土地	3,935	3,933
リース資産(純額)	49	42
建設仮勘定	453	366
有形固定資産合計	8,221	8,547
無形固定資産		
投資その他の資産	324	481
投資有価証券	4,830	4,586
保険積立金	473	475
長期預金	—	447
繰延税金資産	56	168
その他	159	152
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	5,503	5,812
固定資産合計	14,049	14,841
資産合計	28,962	29,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,493	3,384
短期借入金	1,280	1,633
リース債務	15	15
未払金	548	476
未払消費税等	16	14
未払法人税等	78	124
賞与引当金	420	410
役員賞与引当金	16	7
その他	668	826
流動負債合計	6,536	6,892
固定負債		
長期借入金	275	234
リース債務	36	29
繰延税金負債	44	44
退職給付引当金	918	932
役員退職慰労引当金	206	217
訴訟損失引当金	75	75
長期預り保証金	159	160
資産除去債務	13	13
その他	6	11
固定負債合計	1,735	1,719
負債合計	8,272	8,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,058	4,058
利益剰余金	16,382	16,705
自己株式	△1,454	△1,454
株主資本合計	23,236	23,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	△65
為替換算調整勘定	△4,098	△4,189
その他の包括利益累計額合計	△3,835	△4,254
少数株主持分	1,290	1,375
純資産合計	20,690	20,680
負債純資産合計	28,962	29,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	11,655	11,988
売上原価	8,424	8,577
売上総利益	3,230	3,410
販売費及び一般管理費	2,807	2,888
営業利益	423	522
営業外収益		
受取利息	70	58
受取配当金	22	22
持分法による投資利益	164	211
その他	56	30
営業外収益合計	313	323
営業外費用		
支払利息	13	12
為替差損	25	24
その他	25	14
営業外費用合計	64	50
経常利益	671	794
特別利益		
固定資産売却益	1	0
その他	6	1
特別利益合計	7	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	3
投資有価証券評価損	1	2
その他	0	0
特別損失合計	3	6
税金等調整前四半期純利益	676	789
法人税等	161	162
少数株主損益調整前四半期純利益	515	627
少数株主利益	107	68
四半期純利益	407	558

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	515	627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162	△328
為替換算調整勘定	63	△74
持分法適用会社に対する持分相当額	67	0
その他の包括利益合計	△31	△402
四半期包括利益	483	225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369	139
少数株主に係る四半期包括利益	114	85

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	676	789
減価償却費	257	272
持分法による投資損益(△は益)	△164	△211
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53	△8
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19	△8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16	14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	11
受取利息及び受取配当金	△92	△81
支払利息	13	12
売上債権の増減額(△は増加)	△413	160
たな卸資産の増減額(△は増加)	△132	△130
仕入債務の増減額(△は減少)	287	△128
その他	53	△31
小計	433	659
利息及び配当金の受取額	124	111
利息の支払額	△14	△12
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△732	201
営業活動によるキャッシュ・フロー	△189	959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△247	△847
定期預金の払戻による収入	20	945
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
有形固定資産の取得による支出	△561	△502
有形固定資産の売却による収入	5	4
無形固定資産の取得による支出	△64	△113
その他	△5	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△858	△512
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	139	354
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△20	△40
配当金の支払額	△235	△235
少数株主への配当金の支払額	—	△124
少数株主からの払込みによる収入	118	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△7	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	194	△54
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△86
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△847	306
現金及び現金同等物の期首残高	6,397	5,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,549	5,362

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,857	1,494	1,507	796	11,655	—	11,655
セグメント間の内部 売上高又は振替高	214	39	—	16	270	△270	—
計	8,071	1,534	1,507	813	11,926	△270	11,655
セグメント利益	65	133	165	69	433	△10	423

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△10百万円は、未実現利益の消去であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,333	1,468	1,394	791	11,988	—	11,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	245	32	—	—	278	△278	—
計	8,579	1,501	1,394	791	12,266	△278	11,988
セグメント利益 又は損失(△)	366	74	100	△16	524	△2	522

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△2百万円は、未実現利益の消去であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。